

ズーム安全対策

2024年6月

まず入室してホストになる

参加者ができることを制限する

以下はホストか共同ホストが操作可能な仕事です。

ミーティングを開始する。

ホストになる。

→参加者マークを押す。

→右手に参加者一覧が出る。

→右下の点々から設定する。

The image shows a Zoom meeting interface. At the top, the 'Participants (1)' list is visible, showing 'Junk (Host, me)'. Below this, a yellow box contains instructions in Japanese. To the right, a settings menu is open, showing options like 'Mute Participants upon Entry' and 'Enable Waiting Room'. At the bottom, the 'More' menu is circled in red, with a large grey arrow pointing to the settings menu.

View

Participants (1)

Junk (Host, me)

✓ 入室した時ミュート

✓ 待合室がある

他のチェックをはずす。
参加者は
自分の名前変更不可
自分でミュート解除不可

Ask All to Unmute

✓ Mute Participants upon Entry

Allow Participants to Unmute Themselves

Allow Participants to Rename Themselves

Play sound when someone joins or leaves

✓ Enable Waiting Room

Hide Profile Pictures

Lock Meeting

Notes More End

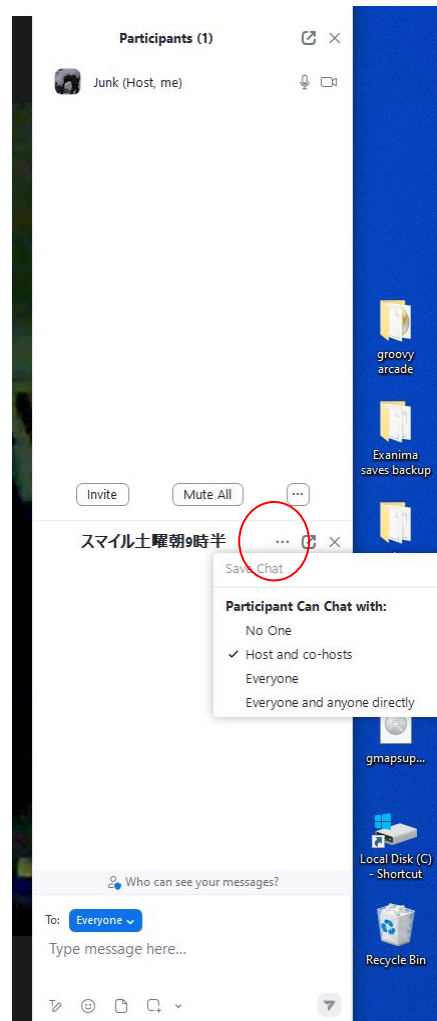
Invite Mute All ...

チャットはホストか共同ホストのみに送れるようにする

チャット画面を開ける。

中央右はじの点々から設定。

・妨害者が全員宛または個別宛に妨害メッセージを送れない。



待合室をつくる

- ・ホストまたは共同ホストが、待合室の入室許可ができる。
- ・なるべく一人の担当者のみが、待合室の入室許可をする。

(複数人で入室許可をすると、同時に許可ボタンを押してしまうことがあり、2人目が押したボタンが、入れたくない人にあやまって入室許可してしまうことあり)

ホスト

参加者のアイコンは入室したらまず「一番最後のページ」に表示される。

ホストは「一番最後のページ」を常に開けておく。

参加者が画面オンにしたら前方のページにアイコンが移動するので、追う。

自分が入室許可を出した人の画面を必ず確認する。

常連を先に入れ、知らない名前の方は、後で入室許可を出し、毎回上記手順で画面を確認する。

怪しい名前を入室させる時

- ・常連じゃない人、しかし新しい仲間かもしれない人は、入れてみないとわからない。
- ・入れたらその人をピンする。ピンをすると自分にはその人が特に見えるようになる。
- ・その人にメッセージを送る。

「ようこそ〇〇ミーティングへ。どちらの都道府県からお越しですか。安全対策のため私が代わりに、お名前に併記させていただいております。」

「ようこそ〇〇ミーティングへ。はじめまして(自分の名前)です。他のオンライン情報の交換もできます。よかったら連絡ください。」

- ・これにてお返事が来れば、新しい仲間かどうかわかる。
- ・妨害行為をする人だったら、その人の画面右上の点々から”REMOVE”退室させる。

- ・ミーティングの司会は参加者に呼びかける。

「安全対策上、できる限り画面オンでご参加ください。画面上で動き回る時は、画面オフで構いません。」と加える。

- ・画面オフの時の画像が、他人に悪い印象を与えるもの、アバター画像のみなど、画面越しに誰がいるか不安を与える場合、チャットで個別メッセージを送る。

「ようこそ〇〇ミーティングへ。安全対策のため画面を10秒程度オンにしておいていただけますか。ご協力に感謝します。」

広報の工夫（英語圏の妨害者対策） 例

チラシのパスコードの部分を日本語で表記して、注意書きを添えることで、英語圏の妨害者が容易に入室できなくなる。

例:「四露敷く」四は半角数字で残りは半角ローマ字表記で入力ください

例;「十二安堵十二」十二は半角数字で他の漢字部分はマークで入力ください

待機室に入ると見える表示を下記のように変える。

「安全対策上、入室の際はお名前とお住いの都道府県かホームグループ名を書いてから入室ください。ホストが入室許可をします。」

など。